

看護学専攻博士前期課程がん看護分野 CNS コース

事業概要資料；

このプログラムの目的は、近年、高まっているがん看護へのニーズに対応できる専門性の高い優れた看護実践能力をもった高度実践看護師を育成することです。保健・医療・福祉現場において、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究が行える能力を獲得していける内容となっています。

プログラムの特徴としては、実践家教員と実践家が協同して講義・演習、実習指導を担当していることです。特に演習科目では、一部にシミュレーションモデルを用いた実践的な演習やフィールドワークを行っています。また、専門看護実習は、すべて病院・地域等の臨地における実習であり、専門看護師に求められる6つの役割を修得する実習であるとともに、カンファレンス等を活用した双方向での学びが得られるプログラムとなっています。

さらに、研究では、学生の興味関心に沿って、実践の場でのデータ収集を重視した研究能力の育成を行っています。